

第 1 回 高田地区中心市街地活性化協議会 議事要旨

日 時：平成 19 年 12 月 21 日 10:00～11:00

場 所：上越商工会議所 3 階大会議室

出席者：別紙名簿参照（出席者 32 名、服部氏、市担当職員 3 名、会議所担当者 3 名）

議事要旨

1. 会頭あいさつ
2. 協議会会長あいさつ
3. 協議会執行体制について

協議会構成員について

資料 1 を基に説明

会長：佐藤副会頭、副会長：大嶋小売部会長（主）、勝島小売副部会長（従）

会計監事：新井 CCI 青年部会長、熊田 CCI 女性会副会長

協議会規約について

資料 2 を基に説明

本日（12/21）上越市より㈱まちづくり上越へ出資がある。それを受け正式な中心市街地活性化協議会として認められる旨を伝え、本日付（21 日）で公表することを報告する。

尚、公表において、協議会構成員も公表する旨を伝える。

以上、承認された。

4. 検討内容及び意見交換

高田地区中心市街地活性化基本計画概要（案）の説明

- ・上越市中心市街地活性化推進室：折橋室長

資料を基に説明

- ・上越商工会議所：渡部次長

資料を基に説明

尚、㈱まちづくり上越が、平成 19 年度戦略的中心市街地中小商業等活性化支援事業補助金を受け、大和周辺活性化検討事業や浄興寺通り整備検討事業、高田地区商店街活性化事業における実施事業の可能性を含めた調査・検討を行なうことを説明、承認された。

質疑応答

- ・中心市街地エリア内に新たに教育施設をつくる考えはないか？高田駅前に生涯学習施設が出来ると良いと思う。（新井委員）

エリア内に新たに教育施設を整備する計画はないが、生涯学習施設については今後検討していきたい。（市）

- ・並行在来線対策の事業はないか？

高田地区では新幹線新駅から高田市街地を誘導する仕掛けについて事業に入れこむ。並行在来線対策については直江津地区の中で直江津駅の機能を高めるような事業を考えていきたい。（市）

- ・まちづくりを考えるうえで高田駅も直江津駅同様に考えてほしい。基本理念の「人が回遊する」ということについてだが、回遊する人はそこに住んでいる人と

外から来る人がいることを考えて頂きたい。

旧高田共同ビル、大和、高田駅、駐車場に重点を置いて頂きたい。(田中委員)

服部アドバイザーより

- ・並行在来線は重要なポイント。国は必ず対策に何を考えているか聞いてくる。
- ・教育施設については既存施設を利用した方が良い(高田小町など)。
- ・似たような事業は項目別にまとめた方がわかりやすい。

佐藤会長より

- ・福祉事業について、もう少しきめ細かい事業を入れることは出来ないか？この件について丸山委員(市社会福祉協議会)の意見を伺いたい。

市街地はお年寄りが多い。例えば旧高田共同ビルにデイサービスなどが良いのでは。また、お年寄りに限らず子供から大人まで利用出来る施設も良い。駅前コミュニティルームはあまり活用されていないと聞くので、このような施設を利用してはどうか。

総合福祉拠点整備事業については H20 年オープンを予定しており、総合相談など誰もが利用出来る施設として考えている。まちづくりに貢献出来るようにしていきたい。(丸山委員)

佐藤会長より

- ・中心市街地はお年寄りの方々にとって住みにくいという声はありますか？
担当部署が違うので直接お年寄りからの声は入ってこないが、歩いて行動する範囲にスーパーがないので不便であると思う。歩ける範囲にそういった施設は必要ではないか。(丸山委員)

以上で議事終了となる。